

7月 生活目標

◇場に応じた挨拶をしよう

必要感を抱かせるのが難しいところではありますが、大切なのは「相手意識」だと考えております。相手が友達であっても先生であっても、こういう挨拶をしたら相手はどう思うか、自分ならどう言われたら気持ちが良いかということ想像し、実践できる力を伸ばしていきます。もちろん発達段階によるところも大きいですが、全体指導に加えて、その場その場で個に応じた指導を継続して行っていきます。是非ご家庭でも話題にいただければ幸いです。



「考える」公園での遊び方



最近、荒井小児童の公園での遊び方について、地域の皆様から多くの声が寄せられています。具体的には…

△自分たちで出したごみをそのままにして帰る。 △木やトイレ、東屋の屋根等の高い場所に上る。

△遊具や東屋を独占して、危ない使い方をする。 △周りの人が嫌がるような言葉を大声で叫ぶ。 等

校外（特に公園）での事案が絶えず、休日の情報も度々寄せられています。いただいた一つ一つの情報提供に対して、該当学級・学年での生活指導、放送による全体指導、事案に関連した授業実践、地域巡視等、様々な手立てを日々検討し、講じております。それでもなお、校外における児童の問題行動が減らない現状に対し、教職員一同強い問題意識を抱いているところでした。

ご家庭・地域の力は必要不可欠です。是非とも皆様の力もお借りしながら、子供たちを見守り、相手意識を育てていきたいという思いであります。校内外における子供たちの生活の様子については、今後もその都度情報提供をいただき、一つ一つ丁寧に対応させていただきます。改めてご協力の程どうぞ宜しくお願いいたします。

◆ 生活アンケートの結果から（4～6月） ◆

先月、今年度第1回目の生活アンケートを実施いたしました。子供たち一人一人の近況や思いを把握し、いじめの早期発見につなげることをねらいに実施しました。

結果として、今年度4～6月において、延べ20件（被害実人数20名）の事案を把握し、保護者の方と連携して対応しました。そのほとんどが解決の方向性ですが、少なくとも3ヶ月間は経過観察を要するとの考えから、把握した事案については現在も複数での観察を継続中です。種別としては、「冷やかし・悪口」が最も多く、次いで「軽い暴力」、「嫌なことや危険なことをさせられる」等が数値として多く計上されました。

今回把握した事案以外にも、子供たち同士のやり取りの中には、常に様々なトラブルがあるものと考えています。今回の結果から実態を考察しながら、子供たちからの訴えに対して、一つ一つ丁寧に対応していくことを念頭に、今後もいじめの未然防止・早期発見・迅速な対応に努めてまいります。

| 種別 | 件数(件) |
|-------------------|-------|
| 冷やかし・からかい・悪口・脅し等 | |
| 仲間外れ・集団による無視等 | |
| 軽く叩かれたり、蹴られたりする等 | |
| ひどく叩かれたり、蹴られたりする等 | |
| 金品をたかられる等 | |
| 金品を隠される・盗まれる・壊される | |
| 嫌なことや危険なことをさせられる等 | |
| ネットによる誹謗・中傷、嫌がらせ等 | |
| その他 | |
| 合計（複数該当有） | |

| 学年 | 件数(件) |
|----|-------|
| 1年 | |
| 2年 | |
| 3年 | |
| 4年 | |
| 5年 | |
| 6年 | |
| 合計 | |

